

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
4月 5月	① 文字を使い分ける  【考えよう】手書きのよさって、何だろう (教科書 P88-89) ◎手書き文字のよさについて、理解することができる。[知技(3)エ(ア)、A(1)オ、(2)イ]	硬・毛 1	1 教科書 P88-89 の漫画を読み、手書き文字のよさについて考え、話し合う。	【知】手書き文字のよさを理解している。 【思】手書き文字のよさについて考えている。 【態】積極的に(①)漫画を読んで手書き文字のよさについて考え(③)、学習の見通しをもって(②)手書き文字のよさについて話し合おうとしている(④)。
	全国文字マップ (教科書 P90-93) ◎身の回りには文字による多様な表現があることを理解することができる。[知技(3)エ(ア)]	硬・毛 2	1 教科書 P90-93 の写真を見て、身の回りにはさまざまな文字があることを理解し、それぞれの文字から受ける印象や気づいたことを話し合う。 2 自分の身の回りにある文字を探して、特徴や印象に残っていることを発表し合う。	【知】身の回りには文字による多様な表現があることを理解している。 【思】身の回りの文字を探す活動のなかで、多様な表現があることを確かめている。 【態】積極的に(①)身の回りの文字を探し(③)、学習の見通しをもって(②)見つけた文字による多様な表現について発表しようとしている(④)。
6月 7月	文字の使い分け (教科書 P94-95) ◎身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。[知技(3)エ(ア)、(1)ア、A(1)オ、(2)イ]	硬・毛 1	1 教科書 P94 の新聞に使われている活字の書体とその理由を考えて、空欄に書き込む。 2 活字にはさまざまな書体があることを理解する。 3 明朝体・ゴシック体・手書き文字の「永」と、それぞれの特徴を線で結ぶ。 4 「学びのカギ」を見て、明朝体・ゴシック体・手書き文字の特徴と、それを使うことによる効果を確かめる。 5 案内文や発表用資料など、身の回りの文字の使い分けを探して発表し合う。 <b>【学習活動の応用例】</b> ○教科書 P86「職業ガイドを作ろう」や P108「冊子にまとめよう」などを参考に、目的に応じて文字を効果的に使い分け、新聞や冊子を作成する。	【知】身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。 【思】目的に応じて効果的に文字を書く必要があることを理解している。 【態】積極的に(①)明朝体・ゴシック体・手書き文字の特徴と、それを使うことによる効果を理解し(③)、学習課題に沿って(②)身の回りの文字の使い分けについて発表しようとしている(④)。
	【コラム】ユニバーサルデザインフォントって何だろう (教科書 P96-97) ◎見やすさや読みやすさにこだわった活字の書体を知ること、文字文化の豊かさへの理解を深めることができる。[知技(3)エ(ア)]	硬・毛 1	1 教科書 P96 の時計に使われているユニバーサルデザインフォントとゴシック体を比べて、気づいたことをグループで話し合う。 2 「デザインの特徴」を見て、ユニバーサルデザインフォントは、より多くの人が情報を正確に読み取れるようにデザインされた文字であることを理解する。 3 身近なユニバーサルデザインフォントの使用例を調べて発表し合うとともに、どんな場面でユニバーサルデザインフォントが使われているのか話し合う。	【知】見やすさや読みやすさにこだわったユニバーサルデザインフォントを知り、文字文化の豊かさへの理解を深めている。 【思】ゴシック体との比較や身近なユニバーサルデザインフォントの使用例を探すことを通して、文字文化の豊かさを確かめている。 【態】積極的に(①)身近なユニバーサルデザインフォントの使用例を探し(③)、学習の見通しをもって(②)見つけた文字について発表しようとしている(④)。
9月	【総合】防災フェスタを開こう (教科書 P98-99) ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)エ(ア)、(1)ア、B(1)全、(2)イ]	適宜	1 防災フェスタのテーマや内容を考え、話し合っ内容を整理する。 2 ポスターや展示物など、必要なものの構成を考える。 3 これまでに学習したこと(行書の特徴/行書に調和する仮名/行書と仮名の調和/楷書の筆使い/楷書に調和する仮名/文字の大きさと配列)に気をつけて、ポスターや展示物などを作る。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】ポスターや展示物などを作る活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、これまでの学習を生かして(②)ポスターや展示物などを作ろうとしている(④)。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
10月	② 未来へ向かって			
	<b>三年間のまとめ</b> (教科書 P100-103) ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)エ(ア)、(1)ア]	毛筆 2	1 教科書 P100-101 の「学びのカギ」を一覧し、3年間で学習したことを振り返る。 2 「自然」「輝ける未来」を書くときに生かせることを話し合い、自分の課題を考える。 3 自分の課題を確かめながら、毛筆で「自然」「輝ける未来」を書く。	<b>【知】</b> 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 <b>【思】</b> 毛筆で「自然」「輝ける未来」を書くなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。 <b>【態】</b> 積極的に(①)3年間で習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)自分で決めた課題に沿って「自然」「輝ける未来」を書こうとしている(④)。
11月	<b>[コラム]自分らしい文字</b> (教科書 P104-105) ◎手書き文字は書き手によって異なり、人柄や個性が表れることを理解することができる。[知技(3)エ(ア)]	硬・毛 1	1 教科書 P104-105 を見て、著名人の手書き文字(名前)のさまざまな書きぶりを味わう。 2 それぞれの手書き文字(名前)から受ける印象について、グループで話し合う。 3 未来の自分をイメージし、それに合った書きぶりを考えて名前を書く。	<b>【知】</b> 手書き文字は書き手によって異なり、人柄や個性が表れることを理解している。 <b>【思】</b> グループで話し合う活動のなかで、著名人の手書き文字から受ける印象を考えている。 <b>【態】</b> 積極的に(①)著名人の手書き文字から受ける印象について考え(③)、今までの学習を生かして(②)未来の自分をイメージして名前を書こうとしている(④)。
12月	<b>[国語]季節のしおり③</b> (教科書 P106-107) ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)ア、エ(ア)、(1)ア]	硬筆 1	1 季節にまつわる詩歌を音読して味わう。 2 これまでに学習したこと(行書の特徴/行書に調和する仮名/行書と仮名の調和/楷書の筆使い/楷書に調和する仮名/文字の大きさと配列)に注意して、季節の言葉を硬筆でなぞる。	<b>【知】</b> 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 <b>【思】</b> 季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 <b>【態】</b> 積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)季節の言葉をなぞろうとしている(④)。
1月 2月 3月	<b>[国語]冊子にまとめよう</b> (教科書 P108) ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)エ(ア)、(1)ア、B(1)全、(2)イ]	適宜	1 印象に残った本やその感想を多くの人に伝えるために、冊子にまとめる内容を整理する。 2 冊子の構成を考える。 3 これまでに学習したこと(行書の特徴/行書に調和する仮名/行書と仮名の調和/楷書の筆使い/楷書に調和する仮名/文字の大きさと配列)に注意して、冊子を作る。	<b>【知】</b> 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 <b>【思】</b> 冊子にまとめる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 <b>【態】</b> 積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)印象に残った本やその感想を伝える冊子を作ろうとしている(④)。
	<b>書く道具が生まれる</b> (教科書 P140) ◎筆・墨・硯・紙・鉛筆の作り方を理解し、書写学習や文字文化への関心を高めることができる。	適宜	1 教科書 P140 の写真を見て、筆・墨・硯・紙・鉛筆の伝統的な作り方を知る。 2 理解したことや感じたことを友達と交流し、書写学習や文字文化への関心を高める。	<b>【知】</b> 筆・墨・硯・紙・鉛筆の作り方を理解している。 <b>【態】</b> 進んで(①)筆・墨・硯・紙・鉛筆の材料や作り方を理解し(③)、学習の見通しをもって(②)、理解したことや感じたことを交流しようとしている(④)。
	<b>[発展]なりきり、書聖・王羲之</b> (教科書 P165) ◎高等学校では芸術としての「書道」を学ぶことを知り、学習への関心を高めることができる。[知技(3)エ(ア)]	適宜	1 「蘭亭序」を鑑賞し、これまでに学習してきた漢字が、先人の優れた筆跡を基礎として発展してきたものであることを理解する。 2 教科書の「永和九年……」を鉛筆でなぞる。	<b>【知】</b> 高等学校では芸術としての「書道」を学ぶことを理解している。 <b>【思】</b> 「蘭亭序」をなぞる活動のなかで、これまでに学習してきた書き方との共通点や相異点について考えている。 <b>【態】</b> 積極的に(①)先人の筆跡に関心をもち(③)、学習の見通しをもって(②)「蘭亭序」をなぞろうとしている(④)。